

令和8年 北秋田市議会 3月定例会
一般質問通告者一覧表

○ 一般質問について

登壇順	議席	氏名	会派名	質問方法	日程	備考
1	2	三浦 倫美	共産党議員団	一問一答	1-1	2月16日
2	8	久留嶋 範子	共産党議員団	一問一答	1-2	2月16日
3	13	板垣 淳	共産党議員団	一問一答	1-3	2月16日
4	1	木村 謙一	無会派	一問一答	1-4	2月16日
5	4	福田 牧子	公明党	一問一答	2-1	2月17日
6	7	福岡 由巳	無会派	一問一答	2-2	2月17日

一般質問通告書

令和8年 北秋田市議会 3月定例会

順位	1-1	質問者	2	三浦 倫美	(日本共産党 議員団)	出席を要求する理事者	市長
質問事項及び要旨						理事者の答弁	
<p>1. 除排雪作業員の処遇改善と人員拡充を</p> <p>①連日の大雪で、除排雪作業員の過重負担が懸念されます。作業員の心身の健康を守り、安全第一で業務を行うためにも処遇改善と人員拡充が必要ではないでしょうか。市長の考えをお聞きします。</p> <p>2. 衆院解散総選挙への対応について</p> <p>①2026年1月27日公示、2月8日投開票の衆議院議員解散総選挙への対応について。</p> <p>真冬に解散から短期間で行われたこと、また、政府当初予算の年度内成立が困難になることが懸念される状況や受験シーズンと重なったことなど、これまでにない状況の中で行われましたが、解散によって、選管業務や自治体の行政運営にどのような影響があったか。あった場合はどのように対応をされたかお聞きします。</p>							

一 般 質 問 通 告 書

令和 8 年 北秋田市議会 3 月定例会

順位	1-2	質問者	8	久留嶋 範子	(日本共産党 議員団)	出席を要求する理事者	市 長
						理 事 者 の 答 弁	
<p>1. 当市における介護人材の現状と今後について</p> <p>①介護人材の不足が顕著化し、さらに不足が見込まれる、対策は先日（1/15）市民福祉常任委員会で、介護分野で働く外国人人材雇用状況について調査を行った。</p> <p>介護職員の高年齢化による退職者の増加、若年層の人材確保が困難で介護職員不足が深刻化している。</p> <p>入所系施設の事業所に勤務する介護職員の年代別構成を見ると、45 歳以上の職員が全体の 53%を占めている。また、30 歳未満の職員では、外国人介護職員が 33%を占めている。</p> <p>介護職員の充足状況について、約 43%の事業所が充足していないと回答。人員不足により、事業が困難な事業所も生じている。ハローワークなど公的機関を通じた募集・採用だけでは人員不足解消が困難と、担当から説明があった。</p> <p>このような現状から、市内 1 法人が 2022 年度から特定技能制度を活用した外国人材の受け入れを開始し、現在はインドネシア出身の 19～26 歳 30 人が 4 施設で勤務している。</p> <p>受け入れにあたり、生活ニーズの変化による、今後の課題や、受け入れ後に対応を要したことなど課題も山積している。</p> <p>1) 当市では、介護事業所に勤務する外国人に北秋田市外国人介護人材定着奨励金を交付し、定着を支援しているが、今後どのような支援が必要か。</p> <p>2) 人手不足に陥る要因の一つとして、離職率の高さが挙げられ、低賃金で 3K というレッテルが貼られがちな介護職だが、現場で働く職員の多くは誇りとやりがいを感じて仕事をしています。職場の労働条件も含め、働き続けるための改善策が必要では。</p> <p>3) 高校生の地元就職支援及び「介護職員不足解消」を目的として、市内在住の高校生を対象として介護職員初任者研修を毎年実施しているが、受講者が少ない。対策が必要ではないか。</p>							

2. 防災ラジオについて

①防災ラジオの検証について

全世帯への貸与から8年が経過し、93%以上の世帯へ普及し定着しているが、市民からは放送の内容について苦情が聞かれる、検証すべきではないか。

1) 防災ラジオにより、全市一斉に情報伝達が可能となり、有事の際等における的確、迅速な行動につなげることができた。と主要な施策の成果に関する報告書にはあるが、先日、地震の情報が放送されたが、身体に感じる震度ではなかったと、市民から連絡を受けた。情報伝達については、正確に発信すべきではないか。

2) 放送回数の内訳はどのようになっているか。生活情報で、マイナンバーカード申請の放送が多すぎる、広報でのお知らせと重複するので、しつこいとの意見もありました。改善すべきでは。

3. 湯ノ岱温泉の今後について

①湯ノ岱温泉の現状と今後についての住民説明会が2月2日に開催された。参加した地元住民からは、再開を望む意見が多く、当局の説明には納得が行かず、臨時休業はやむを得ないが、今後については、丁寧な話し合いが必要ではないか、答弁を求める。

一 般 質 問 通 告 書

令和 8 年 北秋田市議会 3 月定例会

順位	1-3	質問者	13	板垣 淳	(日本共産党 議員団)	出席を要求する理事者	市 長
質 問 事 項 及 び 要 旨						理 事 者 の 答 弁	
<p>1. 森吉山荘の再開について</p> <p>①廃止方針提案から再開に至る経過</p> <p>1) そもそも市はなぜ廃止しようとしたのか。</p> <p>2) 現状認識を問う 廃止方針に対し議会が再開を求める決議をし、市もその方向に舵をきったが、今度は温泉と食事のない簡易宿泊施設とする方針を示し現在に至っている。この現状に批判が出ていることをどう考えているか。</p> <p>②“おもてなし”の心が必要ではないか</p> <p>1) 国定公園化にあたって 国定公園となり、知名度も上がり、観光客もたくさん来ることを望んでいる。そうなったときに簡易施設ではみすぼらしいと思わないか。</p> <p>2) 食事用自動販売機、自動チェックイン機導入について 冷凍食品などの食事用自動販売機や自動チェックイン機導入は正しい選択か疑問に思う。</p> <p>3) 温泉を生かした観光地づくりを 温泉の効能はいうまでもないし、その人気には陰りが無い。よって温泉で地域づくりや地域の魅力アップ、健康づくりなどに力を入れている自治体が全国にたくさんある。当市も温泉の効能をもっと利用すべきではないか。</p> <p>2. 道の駅たかのすの整備計画について</p> <p>①事業の妥当性を問う 住民から、熊出没、豪雨豪雪災害、市民病院縮小、物価高、人口減・少子化・過疎、空き家など「課題がこんなに山積しているときに33億円もかけてハコモノですか」という疑問がたくさん出ている。「お金は市民のくらしのために使ってほしい」という声ももっともだと思う。この声にどう応えるか。</p> <p>②住民投票の考えはないか</p> <p>③民間の仕事は民間で 2つの民間事業者に公的資金を使うのはおかしい。民間の仕事は民間でやってもらうべきではないか。</p>							

一 般 質 問 通 告 書

令和 8 年 北秋田市議会 3 月定例会

順位	1-4	質問者	1	木村 謙一	(無党派)	出席を要求する理事者	市 長
質 問 事 項 及 び 要 旨						理 事 者 の 答 弁	
<p>1. 雪害時の防災について</p> <p>①雪害による通行止めについて</p> <p>令和 7 年 12 月 26 日に、国道 105 号線の新しく完成した幸屋渡バイパスで倒木により電柱が倒壊して約 8 時間に渡り通行止めが発生しました。</p> <p>阿仁比立内・幸屋渡・打当など約 439 戸で停電も発生し、約 8 時間後に復旧したが、寒い時期なので家庭や各事業所では電気や暖房も使えず不便でした。</p> <p>次の 2 点について伺います。</p> <p>1) 長時間による通行止めが発生した場合に、火災や救急搬送の要請があった時にはどのような対策を講じていくのか伺います。</p> <p>2) 令和 6 年 12 月 31 日・令和 7 年 1 月 1 日から 4 日までの時間停電や通行止め、令和 7 年 12 月 26 日の長時間の通行止めが発生している現状において、今後また災害が発生する可能性は十分考えられます。迂回路の対策はどのようにお考えか伺います。</p>							
<p>2. 雪対策について</p> <p>①除雪作業について</p> <p>除雪作業に従事されている市職員や臨時作業員・委託業者のみなさまには、昼夜を問わず業務を遂行していただき感謝しています。</p> <p>冬期間の除雪は住民の安全安心の生活に欠かすことはできません。</p> <p>市民が安心して暮らせるためにも質問させていただきます。</p> <p>1) 除雪車が通った後の玄関前の除雪ぐらいは自分達で、そう思いつつも、車道を削った後の大きな氷の塊りが有り、歩道用の小型ロータリー車での玄関前の除雪を求めたいと思いますが如何でしょうか。</p> <p>2) 高齢者等の除雪困難世帯への除雪支援の増額を求めたいと思いますが如何でしょうか。</p> <p>(現在 1 世帯 40,000 円の補助)</p>							

- 3) 除雪車で雪を寄せている場所に、市民が雪を捨てることが可能か伺います。
- 4) 家庭用の除雪機械等の購入に、高齢者世帯を対象に補助を考えていないか伺います。
- 5) 災害対策本部の設置に伴う、基準値の見直しが必要と思いますが如何でしょうか。

3. 育児休業取得について

①北秋田市役所男性職員の取得状況について

育児休業取得は職員のワークライフバランス向上や、働きやすい職場づくり、業務改善のきっかけとなります。

育休が長期でないと代替え職員が配置されていないと聞きますが市役所の現状を伺います。

また、育休の取得率、日数を正規・非正規雇用別にお知らせ下さい。

4. キャンプ場について

①「カラミナイキャンプ場」について

コロナ感染の拡大は観光面においても、人口密度の高い都会を離れ、自然へと向かう傾向を強めました。ここ数年の全国的なキャンプブームとの相乗効果を、我が北秋田市においてもアピールできる場所があると私は考えます。そこで、「カラミナイキャンプ場」について市長のお考えをお聞かせ下さい。

- 1) 今年度の年間利用件数及び利用者数を伺います。
(北秋田市内の方と市外の方の利用者区分)
- 2) 利用施設の管理状況を伺います。
- 3) 「カラミナイキャンプ場」までの通行経路や周辺環境整備は検討したことがあるのか伺います。

一般質問通告書

令和8年 北秋田市議会 3月定例会

順位	2-1	質問者	4	福田 牧子	(公明党)	出席を要求する理事者	市長
質問事項及び要旨						理事者の答弁	
<p>1. 雪対策事業について</p> <p>①北秋田市の雪対策事業の拡大について</p> <p>2026年の1月の降雪は、観測史上最高といわれ、行政・事業者・各家庭のすべてが除雪作業に疲弊している状況と見ます。夏の豪雨災害に続き、冬の豪雪は、世界的にも同様の状況であり、気候変動によるものと憂慮している。現在、北秋田市で実施されている雪対策事業は、「福祉の雪事業」であり、高齢者の非課税世帯のみを対象とした事業と認識している。若い人たちが北秋田市に居たくない理由の一つとしても挙げられている。また、移住・定住・外国人の生活環境などの面からも、雪対策事業を抜本的に見直す必要があると考える。</p> <p>1) 2026年1月30日に設置された災害対策本部において、どのような対策を実施され、また災害件数や災害内容は。</p> <p>2) 路線バス運行休業時の代替交通は実施されたのか。</p> <p>3) 現時点での当市の雪事業の課題は。</p> <p>4) 「克雪」・「利雪」雪対策事業は考えられないか。 例) 雪氷熱エネルギーの利用、地域の除排雪に対する補助金、克雪用水の確保と利用など。</p> <p>5) 克雪住宅の普及、集落内でのコンパクトな集合住宅の導入など居住環境向上の対策は考えられないか。</p>							
<p>2. 児童館について</p> <p>①沢口地域の児童館について</p> <p>児童館は、児童福祉法第40条「児童厚生施設は、児童遊園、児童館等児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操をゆたかにすることを目的とする施設とする」とあります。</p> <p>沢口地域の児童館は中央小学校が廃校となる前は、隣接した放課後児童クラブと同一建物内で運営されていたが、清鷹小学校に統合された際に、アンケートを実施の結果、廃止になったと伺った。</p>							

18歳未満のすべてのこどもが利用できること。身近で安全な場所であること。目的や理由が問われず、ただ居ることができること。無料で自由に利用できること。など、こどもの居場所として大切な場所であると考え。

- 1) 廃止となった経緯、アンケートの結果の詳細とアンケートの対象者は。
- 2) 児童館が無くなったことで、孤立しているこどもが存在していると考え。児童福祉の観点からの見解は。
- 3) 清鷹小学校の放課後児童クラブに登録していないこどもが遊び場を求めて来るのを断っている現状から児童館は、必要だと考えるが。

3. 鷹巣中学校のスクールバスについて

①鷹巣中学校への道路、特に鷹巣陸橋の朝の渋滞があります。路線バスに乗車して登校する生徒はごく少数と見受けられる。渋滞の状況からも家族の送迎があたりまえのようになっている反面、家族の負担も大きいと考える。当市では、小学生4km、中学生6kmでスクールバス利用だが、安全確保の観点から2km以上としている自治体や、通学距離に関わらず児童生徒がスクールバスを利用している自治体がある。放課後児童クラブや児童館へスクールバスで送迎することで、より安全確保対策となると考える。また、部活動でスクールバスを利用できない場合の路線バスや民間タクシーを活用している自治体、保護者による「スクールバス」の運営などの事例がある。社会情勢が変化している現在、見直しが必要と考えるが見解は。

- 1) 通学距離4km、6kmの根拠は。
- 2) 保護者、親族が朝の渋滞の中送迎している現状に対する見解は。
- 3) 児童生徒の安全確保を第一にスクールバスを運行する必要があると考えるが見解は。

4. 英語教育の充実について

①茨城県の境町では、「英語が話せる子どもたちの育成」スーパーグローバルスクール(SGS)事業を実施し、人気の移住先1位になっている。その要因の一つとして英語教育の充実があるといわれる。

国際化やデジタル化社会の進展などにより語学力の必要性は高まっており、民間の調査では子どもの英語力格差が将来の年収格差につながると指摘されている。日本教育新聞の記事によると、小中学校で英語を担当する教員の約8割が「英語授業に不安やストレスを感じる」と回答。英語授業の発表やスピーチやコミュニケーション活動が嫌で英語授業をきっかけに不登校となったと感じる教員も1割いた。

民間調査を実施した同団体は、英語コミュニケーション活動充実のために一人一台の学習端末を使ったオンライン英会話の活用を提言。オンライン英会話はマンツーマンでネイティブスピーカーとの会話を行い、スピーキング力やコミュニケーション力を高めることができる。

- 1) 北秋田市の義務教育における英語教育の現状は。
- 2) 英語教育における質の高い環境整備の事例を参考に本市でも導入が必要と考えるが見解は。

一 般 質 問 通 告 書

令和 8 年 北秋田市議会 3 月定例会

順位	2-2	質問者	7	福岡 由巳	(無党派)	出席を要求する理事者	市 長
質 問 事 項 及 び 要 旨						理 事 者 の 答 弁	
<p>1. 第 2 次北秋田市総合計画の検証について</p> <p>①北秋田市は、第 3 次北秋田市総合計画策定にあたり第 2 次総合計画の検証がなされたものと考えてるが、その検証結果をうかがう。</p> <p>第 2 次総合計画によると将来都市像を「住民が主役の“もり”のまち」として 5 項目の基本理念を設定した。</p> <p>この内容から以下の 4 点について検証結果をうかがう。</p> <p>1) 防災対策の推進</p> <p>風水害と雪害は合併以降頻繁に発生しているが、特に最近 4 年連続の豪雨災害の傷跡は今なお残り、復旧が急がれる。今回の雪害においても後手に回っている感じが否めない。先を読んだ防災体制の充実が求められるが、この点についての検証はどのようになされているか。</p> <p>2) 農林業の振興について</p> <p>人口減少と高齢化に伴い、農林業の従事者も激減していることにより、沢田の多くが放棄地になり、山林は荒れ、倒木による災害も増加している。北秋田市の基幹産業が衰退しているような状況は看過できるものではない。この点についての検証はどのようになされているか。</p> <p>3) 地域医療の充実について</p> <p>市民のいのちと健康を守り、健康寿命を延伸させる体制づくりに努めるために計画は、北秋田市民病院を中心とした地域医療連携型医療の確立を目指してきたが、市民病院の常勤医師不足、職員不足などにより多くの患者が心配している。この点についての検証はどのようになされているか。</p> <p>4) 観光の振興について</p> <p>森吉山周辺の国立・国定公園化について、市長は「国定公園化を目指す」方針を表明しているが、具体的な指定区域の範囲はどうか、自然環境整備交付金をどのように活用するのかなどの計画は市民には示されていない。住民運動の力が大きくかかわり 30 年余りの運動が実現しつつあることについて、検証はどのようになされているか。</p>							

2. 北秋田市史の編さんについて

①これまで北秋田市史編纂をいく度か提案してきたが、合併して20年経過したにもかかわらず、いまだに編纂の動きが見られないことはいかがなものか。

遅いと考えるが、市制30周年に向けて一大事業化すべきでないか。第3次総合計画の中に含めることも考えられるがいかがか。